



TEAM FUKUOKA NEWS 2022



福岡県選手団サポートニュース R4.9.10 Vol.1

第77回国民体育大会「いちご一會とちぎ国体」(会期前競技)いよいよ開幕!

体操(体操競技)少年男女が見事な演技を披露!

日環アリーナ栃木で行われた体操(体操競技)少年男女。各県選手の演技力は高く、九州ブロック大会とは違った緊張感があった。そのような中、本県選手団はチーム福岡を胸に、最後まで粘りのある見事な演技を披露してくれた。

○少年男子 佐藤洸輝選手(九州国際大学付属高校3年)

「1,2年とコロナの影響で苦しい状況だったけど、栃木県で国体が開催されてとても嬉しく思っている。チームとしてもいい演技ができたし、個人としても全力が出せたと思っている。決勝にいけたら、今回の演技をいかしてもっといい演技を行いたい」と意気込みについてもコメントを残してくれた。

○少年女子 小野七海選手(自由ヶ丘高校3年)

「コロナで2年間開催されなかった国体に高校最後に出場できて嬉しい。高校最後の試合なので悔いが残らないように頑張りたい」と高校最後の大会に向けての意気込みを語ってくれた。

※小野選手は中学3年次に茨城国体にも出場



体操競技少年男女



弓道成年女子



ユウケイ武道館で行われた弓道成年男女。遠的部は、60m先の的を居抜き、3人の合計得点で順位が争われる。静寂に包まれる中、集中し的を狙う。

成年女子は、惜しくも決勝進出は届かなかったものの、成年男子は、持ち前の高い集中力で見事に決勝進出を決めた。12日(月)に行われる決勝に期待が高まる。



ビーチバレー少年男女、大健闘!

足利市特設ビーチバレーボールコートで行われたバレーボール(ビーチバレーボール)少年男女。

少年女子はトーナメント1回戦で京都府と対戦。セットカウント0-2で敗退。敗れはしたが、この夏の全国チャンピオンである京都府相手に粘りあるプレーで善戦した。桐山・西野ペアは「負けて悔しいですが、国体でプレーできることはとても楽しく、一生の財産になりました」と語った。

少年男子はトーナメント1回戦で香川県と対戦し、セットカウント0-2で敗退。

敗れはしたものの、懸命に戦う両種別の選手達の姿は、本当に素晴らしいでした。



ビーチバレーボール少年男女

水球少年男子、激闘するもペナルティースローで惜敗

栃木県立温水プール館にて行われた水泳(水球)少年男子。トーナメント1回戦で埼玉県と対戦。開始直後こそやや埼玉県に押される時間があったものの、気迫みなぎるディフェンスによって主導権を奪い返し、その後は一進一退の攻防。1点リードのまま迎えた第4ピリオド終盤、残り8秒で同点ゴールを決められ、決着はペナルティースローとなり惜敗。涙をのんだ。

「とても悔しいですが、このチームは2年生主体です。来年必ずリベンジします」と試合終了後に西山監督が力強く語ってくれた。



水球少年男子

国民体育大会福岡県選手団結団式が行われました!

9月8日(木)にアクシオン福岡にて、福岡県選手団結団式が行われた。福岡県スポーツ協会会长及び国民体育大会福岡県選手団団長である服部知事は「3年ぶりにこの結団式、そして国体が実施されることを大変嬉しく思います。選手の皆さまが懸命に戦う姿は、県民に元気と勇気を、そして子ども達には夢や希望を与えてくれます。『チーム福岡』一丸となって、男女総合成績8位の壁を突破していこうではありませんか。共に頑張りましょう」と激励した。

